

ふるさとの文化財探訪

ソメイヨシノと天狗巢病

文化財調査員 佐藤 三千代

「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」。昔から言われてきた手入れ方法である。数年前、県内の桜天狗巢病のひどい名所が公表された（元県林業試験所―諫本博士）。大手術

が必要になっていく名所のうち、玖珠郡では北山田駅が上がっていた。しかし昨年ごろから手入れがされた跡がみられ、2〜3年経ればかなり回復すると思われる。

桜といえばソメイヨシノ（ヨシノザクラ）が一番人気で、多くの名所がある。ソメイヨシノはクロンからの標本木であり、開花予想もこの桜に決められている。しかし郡内のソメイヨシノは天狗巢病に罹ったものが多く、年を経るごとにひどくなっているようで景観上問題ばかりか、桜の寿命の短さ、他の品種・種類にも影響が出ることが考えられる。国道210号線沿いで見かけるソメイヨシノ、神社の境内、町役場周辺、農協支所などに目立っている。若木はそれほど目立たないが樹齢を増すごとにひどくなる。

原因は菌によるもの、ウイルスによるもの、原因がはっきりしていないものなどで、枯れ木につくのでなく生きた樹につくからやっかいである。キリノキ・タケ・ヤマザクラなどにもこの病気があ

る。天狗巢状の枝は健全な枝より葉が小

さく早く開く、そして早く枯れる。このころ菌の胞子を飛ばすとされる。天狗巢状の小枝は、数年で枯れる。

防除法は病気の初期に罹病した枝を切り取ることである。こぶ状になったところを含めて切り取ることが大切である。切り取った枝は焼くのが一番。枝を切り

とった後に有機水銀剤を散布するとよいとされている。切り口からの腐朽菌の侵入を防ぐために、私は庭木等の大きな切り口にペースト状の殺菌剤（※）を塗っている。樹幹につくテイカカズラ・キツタ・クスなどのかずら類を除き清潔に保ち湿度を低く保つのも予防の一つかもしれません。

文化財調査員会も松岡公園のソメイヨシノの天狗巢病の手入れをしたことがあるが、何年か続けることが必要でしよう。しかし高い所は特に危険なので園芸業者に依頼すべきかと思われます。

（※佐藤さんが使用している殺菌剤を知りたい方は、九重文化センターまでお尋ねください）



天狗巢病に罹ったサクラ

幸せになろうね



No.297

きせき
奇跡

五月晴れの空を見上げると、鯉のぼりが自由に風に舞っています。

「滝を登り切った鯉は竜になる、困難に打ち勝って大成する」という意味からたくましい鯉のように、子どもたちが元気に大きくなることを願うという意味が込められています。

5月5日は「子どもの日」。1948（昭和23）年に祝日法が制定されました。

祝日法2条によれば、「子どもの人格を重んじ、子どもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」お休みの日と決められました。子どもを大事に思っ

♪ 背くらべ ♪

柱のきずは おとしの 五月五日の 背くらべ
ちまき たべたべ 兄さんが 計ってくれた 背のたけ
きのうくらべりや 何のこと やっと羽織の ひものたけ

この曲は、大正8年に作られた歌です。なつかしい歌です。

むか〜し私が子どものころ、家の柱に名前とるしを付け成長を祝ってくれた両親の愛情を感じます。

「奇跡」とは、常識では考えられない神秘的なこと。人間として、この世に生まれる確率は、爪の上に砂を乗せるほどだと言われています。この世に生まれることは奇跡です。そして、赤ちゃんは、親を選んで生まれてきます。子どもたちを愛し、育てていきましょう。

子どもを取り巻く環境は、虐待、いじめ、体罰、子どもの貧困などの問題があふれ、大変深刻な状況にあります。さらに、子ども同士の「ネットいじめ」インターネットや携帯電話を悪用した行為も大きな社会問題となっています。

子どものSOSを見逃さず、成長・発達を見守りましょう。

「大切ないのち」この時代に生まれ、生まれてきた使命を感じ、いのちある限り、精一杯生きていこうと思う日々です。 九重町隣保館人権啓発指導員 安藤千恵美